






戦争展のあゆみ（第18回～第21回）

回	日時・会場など	内容（展示）	その他の催し	備考
18	05.7.23～24 豊田産業文化センター この子たちの夏 後援 豊田市教育委員会 豊田市文化協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田にも戦争があった</li> <li>標的はトヨタ：終戦前日3発の模擬原子爆弾でトヨタを攻撃した「出撃命令書」初公開</li> <li>私は模擬原子爆弾パンプキンをトヨタへ投下した一爆弾投下の当事者ボックさんの豊田英二氏への手紙を豊田英二氏提供</li> <li>被爆60年 あなたはどれくらいヒロシマを知っていますか。</li> <li>イラクの子どもたちの絵</li> <li>絵手紙</li> <li>戦争中の品々</li> </ul>  <p>日米戦争に従軍していた頃のフレデリック・C・ボック氏（米国立公文書館）</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画大すき人間集まれ（企画 折鶴の会・愛知） 映画日本国憲法、黒い雨他</li> <li>朗読劇 この子たちの夏（主催 むぎわら帽子の会）</li> <li>戦争体験を聞く会 神風特攻隊生還者</li> <li>憲法講演会 ほんとうに憲法をかえるの 講師 森 英樹（主催 憲法を学ぶ会）</li> </ul>	<p>来場者1000余人 冊子作成 わたしは模擬原子爆弾パンプキンをトヨタへ投下した」フレデリック・C・ボックの書簡一紹介と解説 1945年8月14日 終戦前日の真実を探る（豊田市平和を願い戦争を記録する会編集） 各新聞で大きく報道される</p>
19	06.7.22～23 豊田産業文化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田にも戦争があった</li> <li>広川空襲で8人が犠牲に（うち子ども5人）（豊田市史に記録なし）</li> <li>坂上町のB-29墜落跡や伊保原飛行場跡など遺跡の保存を</li> <li>あの戦争を忘れないために パネル「戦争と人間展」</li> <li>戦後の深い悔恨と悲しみから生まれた日本国憲法と教育基本法</li> <li>今世界は日本は イラク戦争と米軍基地再編成</li> <li>今私たちにできることは 若者による平和の鶴作戦 9Pバンド</li> <li>浅見裕子写真展「沖縄 戦世 美ら海守る」</li> <li>絵手紙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会 もうこれ以上だまされないために 講師 安齋 育郎（主催：記録する会）</li> <li>平和をつむぐシンポジウム 「戦争体験をどう伝え、どう継承したらよいか」</li> <li>映画大好き人間集まれ：ノームチョムスキー911 西部戦線異状なし 他 企画 折鶴の会・愛知</li> </ul>	<p>* トヨタ爆撃 05年8月15日 NHK特別番組 「八月十五日 あの日世界は何をめざしていたか」に 冊子の内容が取り上げられた。  戦争展 110人ちらしで呼びかけ」</p>

回	日時・会場など	内容（展示）	その他の催し	備考
20	07. 8. 11 ～12 豊田産業文化 センター	<p>★豊田にも戦争があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡崎海軍航空隊（上郷飛行場） 12000人の14歳から19歳までの予科練生が訓練、特攻隊として散った若者もいる。</li> <li>・軍用地として土地・家屋を奪われ農民たちが戦後短期間で開拓・復興</li> <li>・あの戦争を忘れないために 今年には戦後62年、日中戦争70周年</li> <li>・被爆者は後遺症で苦しんでいる。 原爆症認定はわずか2000人</li> <li>・パネル 南京虐殺、日本軍遺棄毒ガス問題</li> <li>・戦時中の新聞（現物）</li> <li>・憲法9条は日本の宝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ企画 平和のうたごえ喫茶（主催うたごえパレット）</li> <li>・憲法60周年記念講演「子ども、いのち、未来—ちひろの思いと憲法」 講師 松本由理子</li> <li>・平和を願う絵本の読み聞かせ：いわたくんちのおばあちゃん他</li> <li>・ミーティング 「戦争体験を語り告ぐことの意味」 語り手 安間 慎 主催 憲法を学ぶ会</li> <li>・映画大好き人間集まれ「父と暮らせば」など（企画 折鶴の会・愛知）</li> </ul>	<p>第20回豊田市平和をねがう戦争展記念誌発行</p> <p>「豊田市の戦争遺跡保存と語り継ぐために—終戦前日・トヨタ爆撃の真相」 19年度豊田市郷土文化関係自費出版物補助金の交付を受ける。</p> <p>市内の公立小中高等学校、交流館、図書館などに贈呈保存される。</p> <p>参観者 1000余人 予科練体験者が多数来場</p>
21	08. 9. 20 ～21 豊田産業文化 センター	<p>戦争体験を次の世代に伝えたい 子どもたちに平和な未来を</p> <p>★豊田にも戦争があった 新合併地域の戦争遺跡の調査の展示を開始：足助地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まぼろしの名鉄足助乗り入れ・足助の爆撃・学校でケシ栽培など</li> <li>・学童集団疎開 足助町宝珠院、若園町養寿寺 三河地震と学童疎開</li> <li>・トヨタ自動車挙母工場への学徒動員—挙母高等女学校の生徒「血の中指捧げて敢闘」（1944年中日）けがをしても作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のための連続憲法講座第6回 高遠菜穂子さんイラク報告会「命に国境はない」（主催憲法を学ぶ会）</li> <li>・絵本の読み語りと歌 すみれじま 二度と</li> <li>・平和を願う映画会 つるにのって、紙屋悦子の青春 他</li> <li>・トヨタの学徒動員と学童疎開を語る会</li> </ul>	<p>来場者 700人</p> <p>6月 豊田市に戦争遺跡の保存を申し入れ 市が確認している箇所（10箇所） 軍事関係施設 名古屋海軍航空隊通信室など 爆撃等箇所 ・今町（パンプキン爆弾による爆撃）など</p>
		 		
		 		<p>16歳で特別幹部候補生となる長男を送る一家 この写真の中央の女の子が現在戦争展実行委員のひとり。この写真が、新聞でも紹介され、話題になる。</p>

第1回から第17回および第22回以降はトップページに戻り、  
トップページの右下へスクロールして、

**戦争展のあゆみ**の各項目を参照

1. 第1回～17回

3. 第22回～25回

4. 第26回～30回

トップページへは [戦争展のホームページへ](#)